SONY

3-858-459-08(1)

TV(1–12ch)/FM/AM ラジオ

取扱説明書 • 保証書

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-810V

品 名 ラジオ

型 名 ICF-810V

保証書 T10-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

主な特長

- テレビの1〜12チャンネルを楽しめるTVバンド付き。
- 大きく見やすい表示と、操作しやすい大きなつまみ。
- 暗いところでも操作しやすい、ダイヤル目盛り照明付き。
- 同調インジケーター付き。
- 家庭用電源、乾電池のどちらの電源でも使える2電源方式。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- イヤホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高い所(40℃以上)や低い所(0℃以下)。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー風呂場など湿気の多い所。
  ー窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。ほこりの多い所。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、ソニーの相談窓口または、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- イヤホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、ソニーサービス窓口に相談してください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数	TV：4〜12チャンネル*1 FM：76〜108 MHz (TV1〜3チャンネル)*1 AM：530〜1605 kHz
スピーカー	直径10.2 cm 丸形8 Ω 1個
出力端子	⑨（イヤホン）端子（ø3.5 mm ミニジャック）1個
実用最大出力	500 mW（JEITA*2）
電源	AC 100 V 50/60 Hz DC 4.5 V、単2形乾電池、3本
最大外形寸法	約228.7×138×63.7mm（幅×高さ×奥行）（キャリングハンドル含まず）（JEITA）
質量	約970g（乾電池含む）

*1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。
*2 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ソニー単2形乾電池（お試し用*3）(3)、イヤホン（1）、電源コード（1）*4
取扱説明書・保証書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）

*3 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。
*4 100V専用のため、海外ではご使用になれません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月〜金:9:00〜20:00 土・日・祝日:9:00〜17:00

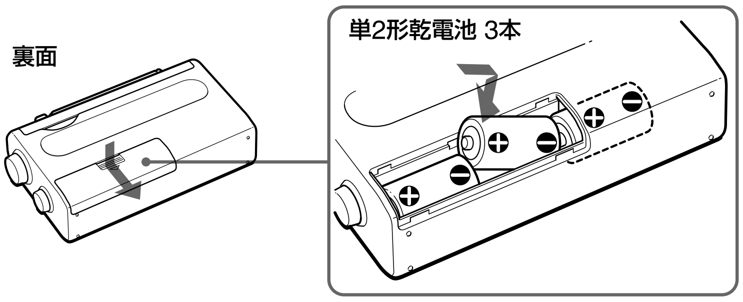
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/

電源について

乾電池で使うには

単2形乾電池3本を入れます。



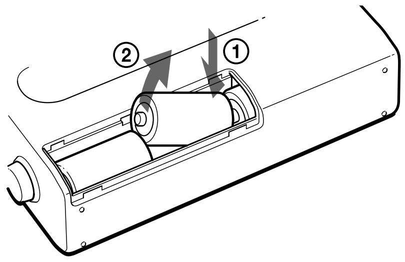
1 乾電池入れのふたを開ける

2 乾電池の＋と－の向きを正しく入れる

3 ふたを閉める

乾電池を取り出すには

乾電池の－側を押して取り出します。



乾電池の持続時間

ソニー単2形（R14）マンガン乾電池使用時（JEITA*）

放送の種類	持続時間
TV（4-12チャンネル）	約55時間
FM放送（TV1-3チャンネル）	約65時間
AM放送	約70時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
  実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

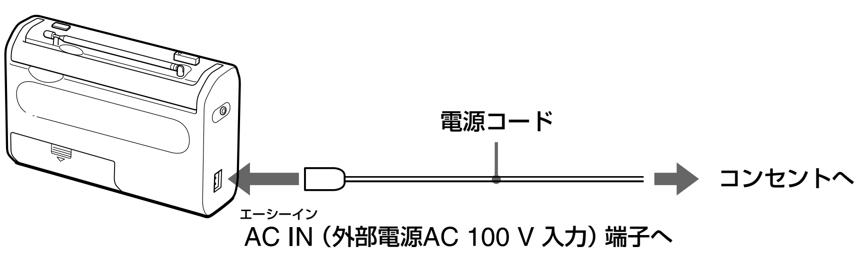
乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。

乾電池で使うときは電源コードをAC IN（エーシーイン）端子から抜いてください。つながれていると乾電池では使えません。

コンセント（家庭用電源 100 V）で使うには

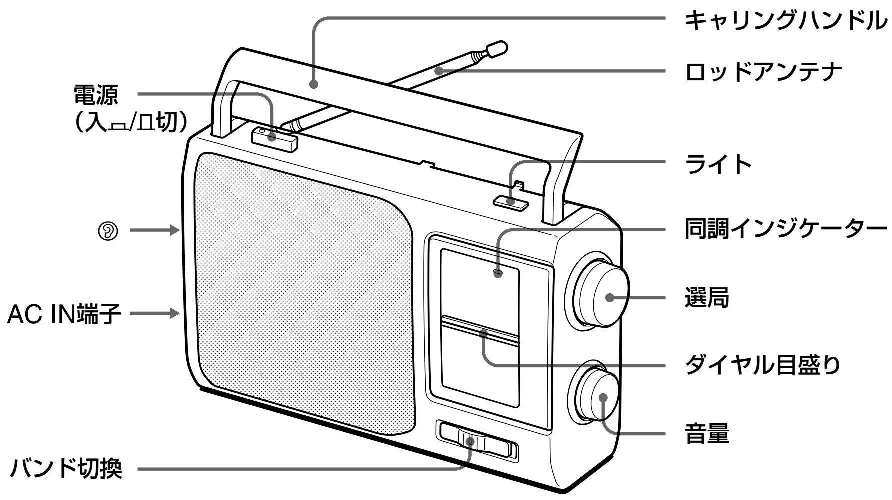
付属の電源コードを、AC IN（エーシーイン）端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。乾電池が入っていても自動的に家庭用電源に切り換わります。



ご注意

- 乾電池の液漏れを防ぐために、コンセントでお使いの場合は、乾電池を取り出しておくことをおすすめします。
- 長い間ご使用にならないときは、電源コードをAC IN端子とコンセントから抜いてください。

ラジオを聞く



1 電源（入▭）スイッチを押して電源を入れる

2 バンド切換スイッチで聞きたいバンドを選ぶ
TV1-3チャンネルを聞くときは「FM」、TV4-12チャンネルを聞くときは「TV」に合わせます。

3 選局つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ
放送を受信すると同調インジケーターが点灯します。

4 音量つまみを回して音量を調節する

電源を切るには

電源（□切）スイッチを、もう一度押します。

イヤホンで聞くときは

イヤホンを🎧（イヤホン）端子につなぎます。
イヤホンをつなぐとスピーカーから音は出なくなります。

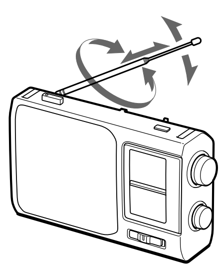
ダイヤル目盛りの照明をつける

ライトボタンを押します。ダイヤル目盛りが約30秒間照明されます。

受信状態を良くするには

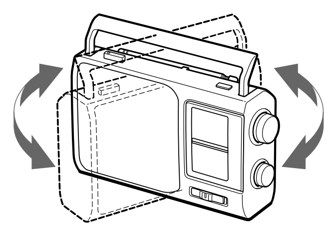
テレビ、FM放送の場合

受信状態が最も良くなるように長さや角度を調節します。

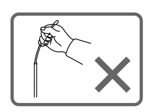


AM放送の場合

AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。



ロッドアンテナの角度を調節するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。



注意

- 乗り物やビルの中では電波が弱められますので、雑音が気になるときは、なるべく窓際でお聞きください。
- 金属物などにラジオを近づけると受信状態が悪くなることがあります。金属物などからは離してお使いください。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。